

2.（松岡）臨床講義棟

1）（松岡）改修概要

松岡キャンパスにおける附属病院内にある臨床講義室一帯は、経年 41 年の施設であり、老朽化が著しく教育環境としての機能も低下している。また、臨床大講義室には高さ 6 m を超える高天井もあるため、天井の耐震対策も喫緊の課題となっており、本事業によりこれらを解消し、施設の長寿命化および安全安心な医学教育の環境改善を図るものとする。

<具体的な計画内容>

「老朽化機能改善の為の内装改修」「臨床大講義室の耐震天井化」「外皮性能向上による省エネ性能向上」「ユーザーヒアリングを実施した設計」を計画し、学外利用者も考慮した、安全安心な医学教育環境とする。

◎老朽化機能改善の為の内装改修

- ・居室及び廊下は内装全面更新により老朽化機能改善を行う。
特に臨床大講義室、臨床小講義室は学会、講演会等の学外利用が想定される為、意匠に配慮した設えとする。
- ・談話室は、学内外の利用者が使用する休憩スペースとして全面改修を行う。
造作家具や間仕切壁を含む内装改修にて、ヒアリング要望を踏まえた設えとする。

◎臨床大講義室の耐震天井化

- ・臨床大講義室は、天井高さ 6 m 超える高天井で耐震対策を講じる必要があるため、費用対効果を鑑み、耐震天井（仕様ルート）にて改修を行う。

◎外皮性能向上による省エネ性能向上

- ・CO2排出抑制に効果的な外皮の断熱性能の向上（高断熱改修）の為、費用対効果が高く、施工が容易な内断熱工法で計画し、省エネ性能の向上を図る。
- ・臨床大講義室、臨床小講義室、談話室については、本建物における重要な室と位置づけ、真空ガラスへの入替え、遮熱フィルム貼り、カバー工法によるペアガラス化等、部位ごとに適切な工法を採用し、外皮性能の向上を図る。



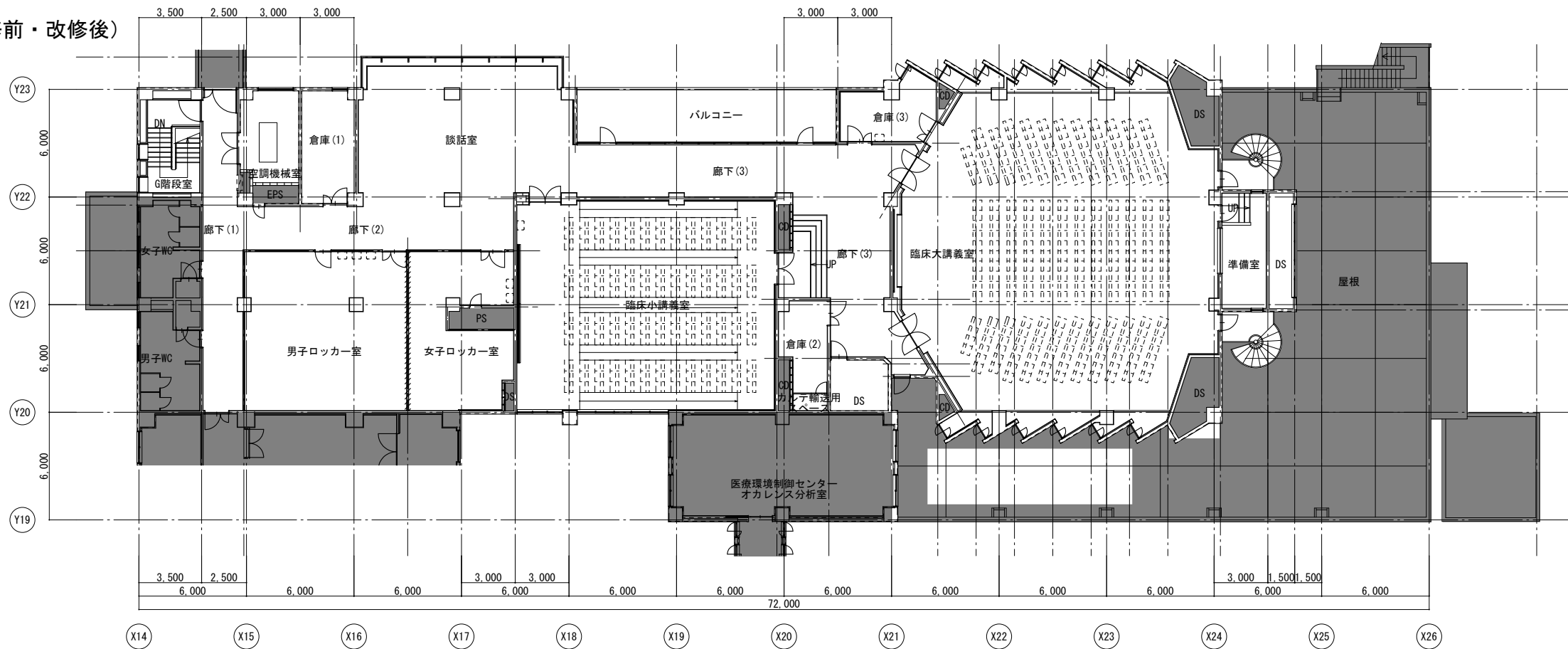
▲臨床大講義室イメージ（前面）



▲臨床小講義室イメージ（前面）

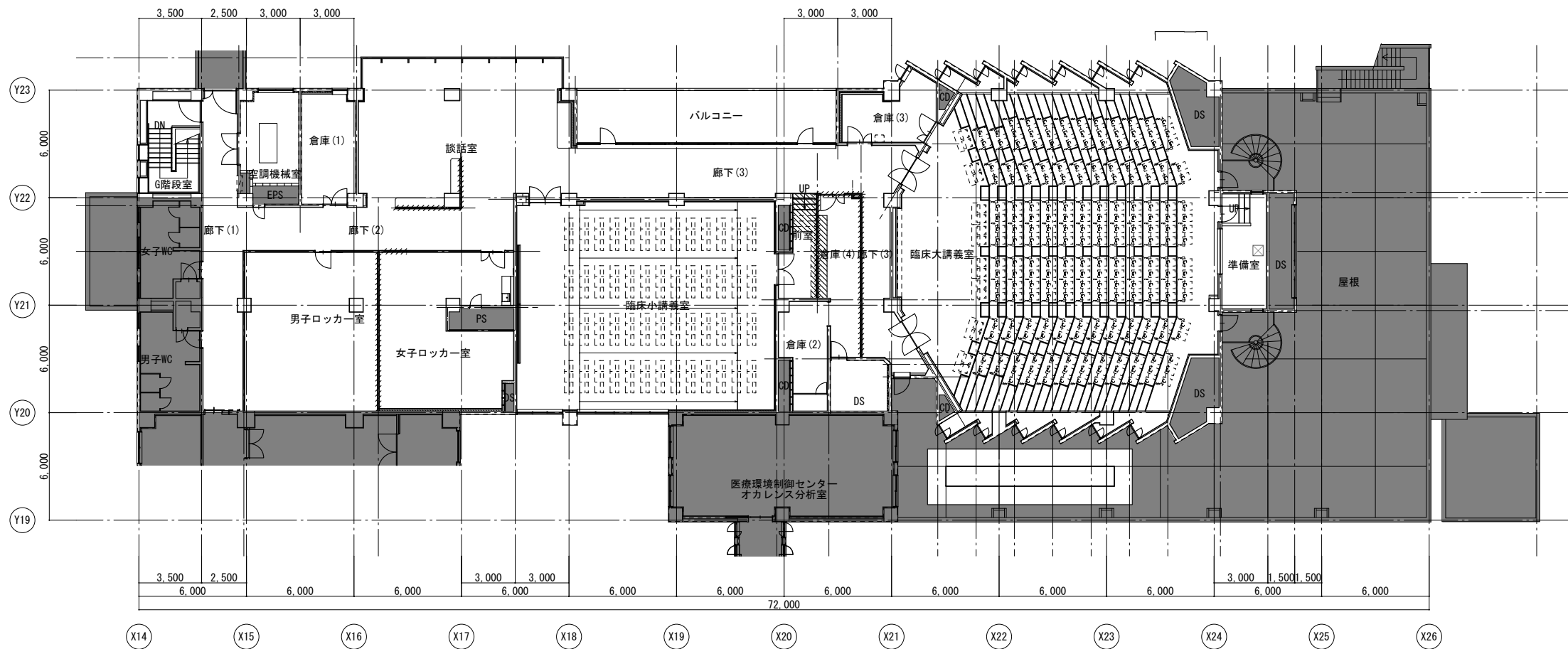
2) (松岡) 平面図 (改修前・改修後)

改修前



2・3階平面図 (改修前) 1/300

改修後



2・3階平面図 (改修後) 1/300